

# 保護者向け啓発リーフレット(6月)

## 《インターネット上に個人情報を公開することの危険性》

北海道教育委員会

ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

平成25年度のネットパトロールが始まり、5月の巡回調査が終了した時点で、2874件の不適切な投稿が検出されましたが、そのうち2846件が個人情報をネット上に公開してしまっているというものでした。学校名、クラス、学年などを載せているものもあれば、フルネームや顔写真など、簡単に本人を特定することができてしまう情報を公開してしまっているものもありました。

子どもたちの多くは、まだインターネットに接し始めたばかりで、インターネットに対する危機感というものが往々にして薄い傾向があります。「顔写真を載せても友達しか見ない」「メールアドレスくらいなら載せても大丈夫」そう感じているのかもしれませんが、インターネット上に公開するということは全世界の人がそれを見ることができるということです。ネットパトロール中に「先生が勝手にブログを読んだ！」などと書き込んでいる子を見かけることがあります。ブログを公開するということは、先生はもちろん、不特定多数の人がそれを目にする可能性があるということなのです。同じようにネット上に個人情報を載せてしまえば、それを悪用されるリスクというものを考えなくてははいけません。では、一体どういったリスクが考えられるのでしょうか？

### ■ 個人情報の流出

自分や友達の画像を載せてしまっている場合、その画像を転載される危険性があります。インターネット上に無数にある掲示板の中には、プロフィールサイトから顔写真を載せてしまっている女の子の画像を集め、「この子がかわいい」「他の画像はない？」などと語り合う場所も存在します。こういった場所に画像が流出してしまえば、そこから更に転載されて、様々な画像掲示板に貼られてしまうことも少なくはありません。知らず知らずのうちに、自分の顔写真が出会い系サイトの広告に使われていたというケースもあります。悪質な場合は、画像だけではなく、個人情報までもがセットで晒されてしまうこともあります。インターネット上には悪いことを考えている人間がたくさんいます。もし、その晒された個人情報に住所が含まれていた場合、近くに住んでいるからちょっと会いに行ってみようとする人も出てきてしまうのです。

### ■ 出会い目的の接触

プロフィールに学校名や住んでいる地域を載せてしまっている場合、その情報をもとに近づいてくる人もいます。その学校の先輩や後輩であったり、隣の学校の生徒であったりと、それほど問題にならないケースも多いですが、中には出会い目的、極端なことを言えば犯罪を目的とした接触も存在します。よくある手口として、最初は「俺もそのバンド好きなんだよ」とか「近くに住んでるんだけど、〇〇って奴わかる？」などと共通の話題からメッセージを送って近づこうとするものがあります。

インターネットで知り合った十数名の少女にわいせつな行為をしたとして逮捕された42歳の男性は、プロフィールをもとに未成年の女の子が書いているブログを探し、コメント欄に「1人で悩まないで。人生の先輩として相談に乗ってあげようか」と優しい大人を装って書き込むことで信頼を得て、最終的に直接会う約束を取り付け、犯行に及んだとのこと。こんな手口に引っかかる子が本当にいるの？と思うかもしれませんが、しかし、インターネットの危ない部分をまだ見たことがない子どもたちには、どのような人が危険で、どのような人が安全なのかを見分ける材料がありません。だから優しい大人を装って近づいてきた人の言葉をそのまま信じてしまい、実際に会ってみてもよいと思ってしまうのです。

## ■「炎上」の危険性

ネット上に個人情報を載せた上で、飲酒や喫煙などを不適切な行為をブログやTwitterに書いてしまった場合、悪意のある第三者によって個人情報と不適切な書き込みがセットでネット上の様々な場所で晒される「炎上」というケースに発展することもあります。これは子どもたちに限らず、有名人が被害に遭うことも少なくはありません。

身近な例として、昨年度、ある高校生がお酒を飲んだことをTwitterに投稿してしまったことがきっかけで、そのプロフィールから学校名や顔写真、また、他の書き込みの中から名前などが割り出され、2ちゃんねるやTwitterに晒されるということがありました。今でもその学校名を検索すると、検索結果に、名前や顔写真とともに「未成年飲酒を告白」という記事が挙がってきてしまいます。一度インターネット上に広がってしまった情報を全て削除することはほぼ不可能です。残念ながらこの記事は半永久的に残ってしまうでしょう。

たかが学校名、たかが名前と思うのではなく、個人情報をネット上に載せてしまうことの危険性を理解し、「個人情報を書かない」「聞かれても教えない」という認識をしっかりと持つことがネットトラブルの被害に遭わないための最初の一步です。

